

PRESS RELEASE

2026 年 10 月 9 日

ライブリッツ株式会社

ライブリッツ、東京ヤクルトスワローズの肖像権管理システム 「FastBiz Rights」を構築

～売上集計から選手へのロイヤリティ精算までを一元化。複雑な按分計算を自動化し、球団の
バックオフィス業務を DX～

スポーツ AI およびスポーツ DX ソリューションを提供するライブリッツ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役：村澤 清彰、以下「ライブリッツ」）は、株式会社ヤクルト球団（本社：東京都港区、代表取締役社長：林田 哲哉、以下「ヤクルト球団」）との強力なパートナーシップのもと、選手の写真や映像等を使用した商品化における肖像権管理システム「FastBiz Rights（ファストビズライツ）」を構築し、提供開始したことをお知らせいたします。

本システムは、ヤクルト球団が直面していたロイヤリティ管理業務の現場のリアルな課題や運用ノウハウを反映し、これまで手作業で行われていた「売上集計」「ロイヤリティ計算」「経理向けデータ作成」など肖像権管理の一連の業務を自動化し、業務負荷の軽減と業務品質の向上を実現しました。



【ライブリッツ / 東京ヤクルトスワローズ】

肖像権管理システム

FastBiz Rights を構築

複雑な按分計算を自動化し、
球団のバックオフィス業務をDX

● 売上集計から選手へのロイヤリティ精算までを一元化 FastBiz Rights

01 売上集計

02 ロイヤリティ計算

03 経理向けデータ作成

領域をまたぐデータの再入力 ● 突き合わせが不要になります

■ FastBiz Rights 誕生の背景：ライセンスビジネス拡大の裏にある「バックオフィスの限界」

プロ野球球団において、選手の写真や映像を使用したグッズやゲーム、出版物などの商品化は、球団経営を支える重要なビジネスの柱です。それに伴い、取引先企業から球団へ支払われるライセンス料のうち、あらかじめ定められた契約条件等に応じて、各選手へロイヤリティ（使用料）を適切に計算し、分配・支払いを行う「肖像権管理」の業務が発生します。肖像権管理の実務は、単純な定率計算では完結しません。

- 商標・選手個人・肖像・集合写真といった権利の種類ごとに異なる、ロイヤリティの算出条件
- 一括支払いの契約と、肖像を利用して販売した商品の売上に応じた割合支払いの契約の混在
- 商品の特性や登場選手数に応じた按分計算や端数処理、確定後の金額訂正・取消といった日常的な調整
- 多数の取引先との間で都度発生する、個別の企画・契約の調整

これらが重なり、確認・管理すべき情報は絶えず積み上がっていきます。こうした業務は、従来、契約・企画の領域が表計算ソフトやメールでのやり取りに、精算の領域は個別の計算ツールを利用、請求・支払いは会計システムを利用と業務が分断されがちで、領域をまたぐたびにデータの再入力や突き合わせが必要でした。結果として、多岐にわたる調整や膨大なデータの集計業務は手作業や属人的な管理体制に依存せざるを得ず、特定の支払時期に担当者の業務負荷が大きく集中するなど、バックオフィスにおける抜本的な業務効率化が課題となっていました。また、これらは担当者が本来時間を使うべき「ファンが喜ぶ新しい企画の立案」や「新規ライセンスの開拓」といったクリエイティブな業務を圧迫する要因となっていました。

当社はこうした課題を根本から解決するため、東京ヤクルトスワローズの現場知見と、ライブリッツのスポーツ DX ノウハウを結集し『FastBiz Rights』を構築しました。

■『FastBiz Rights』がもたらす「4つの効果」

『FastBiz Rights』はビジネスの現場に即した肖像権管理システムとして、当社が提供するファンクラブ・EC・来場データを一元管理するファンマーケティング支援システム「FastBiz」で培ったプロスポーツ特有の業務要件への知見を、権利管理・精算領域へ拡張したものです。

▼ サービスページ（サービス詳細）

<https://www.laiblitz.co.jp/fastbiz-rights/>

【肖像権管理システム「FastBiz Rights」の特長】

1. 複雑なロイヤリティ計算の自動化

権利の種類や支払い方式、分配先の区分によって条件が変わるロイヤリティの算出を、システム上で自動化しました。確定後の金額訂正・取消にも対応します。従来は表計算ソフト等を使って手作業で行っていた計算が不要になり、計算ミスリスクを抑えるとともに、特定の時期に集中していた担当者の業務負荷を分散・軽減します。



2. 取引先とのやり取りを一元管理するポータル機能

取引先企業（グッズ製造会社等）との商品化に関するやり取りを、専用のポータル上で完結できるようにしました。メールでの煩雑な連絡やデータの二重入力がなくなり、申請から承認までの状況を関係者が同じ画面で把握できます。やり取りの経緯も蓄積されるため、後から契約の背景を確認することも容易です。

3. 契約・企画から精算までを貫く一元管理

契約から商品化、売上の集計、精算までの情報を一つの基盤で管理します。領域ごとに分断されていた情報が一元化されることで、業務の領域をまたぐたびに必要だったデータの再入力や突き合わせがなくなり、進捗の確認や過去実績の参照も同じ基盤の上で完結します。属人的な管理に依存していた状態を改め、業務品質を安定させます。

4. 会計システムとの連携による経理業務の効率化

精算の結果を、球団が利用する会計システムへ受け渡せるようにしました。精算と請求・支払いが分断されていた状態が解消され、経理部門での再入力や突き合わせの手間を削減します。

■ 今後の展望：スポーツ振興への貢献と当社が実現する「ファン還元&成長のエコシステム」

当社はこれまで、ファンマーケティング支援システム「FastBiz」を通じて、ファンクラブや EC といった球団のフロントオフィス業務を支援してきました。今回、権利管理と精算というバックオフィス業務を担う「FastBiz Rights」が加わることで、ファンとの接点から権利者への精算まで、球団運営の両面を一つのサービス群で支え

られるようになり、包括的な DX を実現します。さらに、生成 AI を活用したスポーツ AI ソリューション（『FastBiz AI メルマガ』、『FastBall AI』など）を掛け合わせることで、コンテンツ制作やデータ分析の「質」と「スピード」の向上も支援します。

【ライブリッツが実現するファン還元&成長のエコシステム】

1. バックオフィス DX :

『FastBiz Rights』で、膨大な手計算や複雑な権利管理ストレスから解放される

2. 時間の創出 :

生み出された「時間的・精神的ゆとり」を、ファンとのエンゲージメントを高める新企画やコミュニケーション設計へ投入する

3. 質と速度の向上 :

『FastBiz』と『スポーツ AI ソリューション』を活用し、魅力的でパーソナライズされた施策をスピード感をもって展開する

4. 業界の活性化 :

ファンがこれまでにない熱量と喜びを感じ、結果としてチーム・企業の事業成長と業界全体の活性化につなげる

『FastBiz Rights』は、単なる業務効率化ツールではありません。スポーツ・エンタメ業界のすべての担当者が「ファンの熱狂を生み出す本質的なクリエイティブ領域」に自身の情熱と業務時間を傾けられる環境を整え、業界全体の可能性を最大限に引き出すための強力な運営基盤です。ライブリッツは今後も、AI をはじめとした先端テクノロジーと現場に寄り添う DX ノウハウで、スポーツ・エンターテインメント業界のさらなる発展に貢献してまいります。

■ ライブリッツが提供する主要サービス

当社は、福岡ソフトバンクホークス・読売巨人軍などのプロスポーツチーム、日本サッカー協会などの競技団体に対し、データ分析・映像解析などを活用したスポーツ AI ソリューションを提供しています。

● FastBall

福岡ソフトバンクホークス等のプロ球団も導入するチーム強化・データ分析システム

- **FastBiz**

ファンクラブ・EC・来場データを一元管理し、収益化を支えるファンクラブ運営・ファンマーケティング支援システム

- **FastBall AI**

プロの知見を学習した AI エージェント。データ分析から改善策提案までを自動化

・FastBall AI 専用サイト <https://www.laiblitiz.co.jp/ai/>

■ 会社概要

社名 : ライブリッツ株式会社

代表者 : 代表取締役 村澤 清彰

所在地 : 本社 : 東京都品川区大崎 2-1-1 ThinkPark Tower 9 階

大崎 AV オフィス : 東京都品川区大崎 1-2-2 アートヴィレッジ大崎セントラルタワー3 階

設立 : 2011 年 10 月

事業内容 : スポーツ、地域創生およびエンターテインメントにおけるデジタルイノベーションの実現

ホームページ : <https://www.laiblitiz.co.jp/>

【お問合せ先】

本件に関するお問合せ 広報チーム/瀬島 (pr@laiblitiz.co.jp)

「FastBiz Rights」に関するお問合せ 営業担当/濱場 (sales_all@laiblitiz.co.jp)